

オープニングパネルディスカッション

建築・都市を変えるビッグデータ

近年、ネットワークデバイスや各種のセンサから得られる情報が膨大に蓄積した「ビッグデータ」が脚光を浴びているのは、その分析で得られる新たな発見や、分析データを利用したサービスなどが、既存の社会を大きく変革する可能性が期待されているからである。既に消費行動とマーケティングの関係などでは実用化が始まっているが、今後は交通、防災、エネルギー管理、健康管理など社会活動の基盤を支える様々な分野での応用が始まると考えられる。

またその基本的な背景には空間情報のデータ化技術と言う共通性があり、近年話題になっているBIMやBEMS,環境シミュレーションやまちづくりの協働を支援するネットワークサービスなどとも関連が深い。一方で、こうしたビッグデータの本質はどこにあるのか、これまでのサンプル抽出的なデータ分析とは何が違うのか、その部分への理科がもっと深まるべきである。

本パネルディスカッションの目的はこうした建築・都市におけるビッグデータの利用について、専門家を招き講演いただくとともにその可能性について討議することにある。

日時/会場 ————— 12月5日(木) 14:10~17:30/建築会館ホール

パネリスト

関本義秀 (東京大学生産技術研究所 准教授)

「交通情報とビッグデータ」・

西宏章 (理工学部 システムデザイン工学科 准教授)

「HEMS とビッグデータ」

浅井信宏 (日本アイ・ビー・エムソフトウェア開発研究所 技術理事)

「スマートシティとビッグデータ」

講師略歴

浅井信宏 (日本アイ・ビー・エムソフトウェア開発研究所 技術理事)

1984年 東京大学大学院修士課程修了後、日本アイ・ビー・エム(株)入社

1997年 米国 IBM Austin 研究所赴任

2000年 日本アイ・ビー・エム 大和ソフトウェア開発研究所 ソフトウェアアーキテクチャ担当次長

2002年 日本アイ・ビー・エム 大和ソフトウェア開発研究所 シニアテクニカルスタッフメンバー就任 (部長)

2003年 米国 IBM Software Group Architecture Board コアメンバー就任

2007年 米国 IBM Academy of Technology のメンバーに選出される

2009年 米国 IBM Distinguished Engineer (技術理事) 就任

2012年 日本アイ・ビー・エム 東京ソフトウェア開発研究所 モビリティシステム チーフアーキテクト

関本義秀（東京大学生産技術研究所 准教授）

経歴（CV）

1973年5月31日 神奈川県生まれ
1992年3月 鹿児島県私立ラサール学園高等学校卒業
1992年4月 東京大学理科一類入学
1997年3月 東京大学工学部土木工学科卒業
1999年3月 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻修士課程修了
2002年3月 同 博士課程修了
2002年4月 国土交通省国土技術政策総合研究所
高度情報化研究センター情報基盤研究室 研究官（任期付）
2007年4月 東京大学空間情報科学研究センター 産学官連携研究員
2007年9月 同 特任講師
2010年4月 同 特任准教授
2013年4月 東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 准教授
（工学系研究科社会基盤学専攻兼務）
2013年6月 （空間情報科学研究センター兼務）
受賞（Awards）
2012 地理情報システム学会 ポスターセッション賞（共著）
2005 日本道路会議 奨励賞（共著）
2004 地理情報システム学会 研究奨励賞
2004 ITS シンポジウム 優秀対話講演論文賞
1999 日本写真測量学会 年次学術講演会論文賞

西宏章（理工学部 システムデザイン工学科 准教授）

1994年3月 慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業
1996年3月 慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻修士課程修了
1999年3月 慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程単位取得退学
1999年12月 博士（工学）取得（慶應義塾大学）
1999年4月～技術研究組合新情報処理開発機構
並列分散システムアーキテクチャつくば研究所
2001年2月～株式会社日立製作所 研究開発本部バックボーンネットワーク研究部
2002年4月～ 同 中央研究所ネットワークプラットフォーム部配属
2003年4月～ 慶應義塾大学助手(有期)(理工学部システムデザイン工学科)
2006年4月～慶應義塾大学専任講師(理工学部システムデザイン工学科)
2007年4月～慶應義塾大学准教授(理工学部システムデザイン工学科)
2010年4月～国立情報学研究所客員准教授